



2017年3月期決算説明会

2017年5月9日

積水化成品工業株式会社

(東証第1部 証券コード：4228)

2016年度 決算概要

(単位 億円)

	2015年度 実績 (A)	2016年度 計画(※) (B)	2016年度 実績 (C)	前期対比 (C)-(A)	計画対比 (C)-(B)
売上高	1,016	1,035	1,024	8	△11
(国外売上高) (対売上高比率)	153 (15%)	175 (17%)	171 (17%)	18	△4
営業利益 (営業利益率)	51 (5.0%)	57 (5.5%)	54 (5.3%)	3	△3
経常利益	48	53	50	2	△3
当期純利益	31	33	34	3	1
ROE	5.4%	5.5%	5.7%	0.3%	0.2%

※2016年11月公表数値

◆前年同期比増収・増益、計画比は当期純利益のみ達成

- ・工業分野は自動車分野の拡大もテクポリマーは苦戦
- ・生活分野は販売単価ダウンもスプレッド確保し増益

◆営業利益・当期純利益は、過去最高を更新(ともに2015年度)

2016年度 工業分野 業績

(単位 億円)

	2015年度 実績 (A)	2016年度 計画(※) (B)	2016年度 実績 (C)	前期対比 (C)-(A)	計画対比 (B)-(C)
売上高	370	394	402	32	8
営業利益 (営業利益率)	26 (7.0%)	28 (7.1%)	26 (6.5%)	0	△2
経常利益	23	23	20	△3	△3

※2016年11月公表数値

【家電・IT関係】

- ◆ 「ピオセラン」等を用いた液晶パネルなど搬送資材において、中国・台湾での新規受注が好調に推移
- ◆ テクポリマーは光拡散用途で顧客の在庫調整があり苦戦

【自動車関連】

- ◆ 「ピオセラン」等を用いた部材用途において、各種部材で採用が拡大
- ◆ 部品搬送資材用途においては、アジア各国の需要が拡大

2016年度 生活分野 業績

(単位:億円)

	2015年度 実績 (A)	2016年度 計画(※) (B)	2016年度 実績 (C)	前期対比 (C)-(A)	計画対比 (B)-(C)
売上高	646	641	622	△24	△19
営業利益 (営業利益率)	45 (7.0%)	49 (7.6%)	47 (7.5%)	2	△2
経常利益	36	40	38	2	△2

※2016年11月公表数値

- ◆ シート、ビーズともに数量増も、売上単価の下落により減収
- ◆ 食品・流通関連は食品トレイ用途は好調
- ◆ 農産・水産関連は震災や天候不順の影響もあり低調
- ◆ 建材・土木関連の需要は堅調
- ◆ 数量の増加に加え、原料価格動向への適切な対応とCR効果で利益増

2016年度 配当について

(単位:円/株)

2015年度			2016年度		
中間	期末	合計	中間	期末(予)※	合計(予)
5.0	7.0	12.0	6.0	—	—
	(記念配2.0含む)	(記念配 2.0含む)		12.0	
連結配当性向 35.6%			連結配当性向32.9 %		

※2016年10月1日を効力発生日として当社普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しています。

**2016年度の期末配当金につきましては、1株あたり配当を、12円とする
予定です。**

- ◆2016年度は875千株の自己株式を取得しました。
その結果、総還元性向は54%となりました。
また、1,000千株の自己株式を消却しました。

【計画年度】

2016年～2018年度

【計画名称】

Make Innovations 60

『100年ビジョンに沿って

「事業ポートフォリオ変革」と「収益構造革新」

を進める』

【行動指針】

～創立60周年に向けビジネスモデル変革を起こそう～

構想力を持って、変革をスピードアップする

全員で意識・行動・仕組みを変革し、見える化する

Make Innovations 60 定量目標

(単位:億円)

	2016年度 実績	2017年度 計画	2018年度 計画
売上高	1,024	1,120	1,240
(国外売上高) (対売上高比率)	(171) (16.7%)	(192) (17.1%)	(235) (19.0%)
営業利益 (対売上高比率)	54 (5.3%)	58 (5.2%)	77 (6.2%)
経常利益	50	57	76
当期純利益	34	38	50
ROE	5.7%	6.1%	7.8%

Make Innovations 60 重点施策

① 事業ポートフォリオの変革(事業領域・顧客拡大)

- 工業分野売上比率のアップ
- グローバル拡販のスピードアップ
- M & Aのシナジー効果発現でグループ総合力強化

	2015年度 実績	2016年度 実績	2018年度 目標
工業分野 売上比率	36%	39%	50%

	2015年度 実績	2016年度 実績	2018年度 目標
国外 売上比率	15%	17%	25%

	2015年度 実績	2016年度 実績	2018年度 目標
戦略商材 売上比率	5%	7%	20%

② ビジネスモデル変革のスピードアップ

- 化成品グループのブランド戦略立案とその情報発信一元化
- 提案型営業の再整備と多段階営業の強化
- 加工ビジネスのグループ全体での展開強化

③ 開発推進体制の変革による開発力強化

- 戦略商材の開発投資の強化と上市・拡販のスピードアップ
- 次世代戦略商材開発に向けた情報収集の強化
- ロボットの活用による自動化技術の展開

	2016年度～2018年度 計画累計
開発投資額	34億円

Make Innovations 60 重点施策

④ 高利益体質の構築に向けた競争力強化

- 原料価格動向への適切な対応
- ビジネスユニット別採算管理の徹底と改善推進
- 物流費削減P/Tの強化とDH活動・省エネルギー活動の推進

	2018年度 目標
物流費削減	20%以上削減 (対15年度比)

⑤ 要員ポートフォリオ変革ならびに人材育成

- 営業、開発要員の増員・レベルアップ、スタッフ部門のスリム化
- グループ共通人材像の共有化と国内外次世代幹部の育成
- 採用、研修、人材交流等各種人事制度の見直し

(単位:億円)

	2016年度実績	2017年度～2018年度 2ヵ年計画累計	2016年度～2018年度 3ヵ年計画合計
設備投資額	58	137	195

【2017・2018年度設備投資】

- ◆ 主な完工設備 エラスティル生産設備
台湾の生産能力増強
押出設備能力増強

【3ヵ年投資政策】

- ◆ 設備投資は、開発投資を積極的に展開する。
- ◆ M&Aについては、事業領域拡大につながる案件を別枠で実施する

北東
アジア



【中国】

- 2004年 上海に販売拠点を設立
- 2005年 天津、2009年蘇州にピオセラン発泡工場を設置
- 2015年 上海のシート成型事業会社を取得

【台湾】

- 2006年 台湾積水原聚、ピオセラン重合設備稼働
- 2008年 販売拠点となる台湾積水迅速設立
- 2014年 両社を合併し、製販一体体制を確立
- 2015年 台中近隣に多目的型成形加工工場竣工
- 能力増強検討中

【韓国】

- 2007年 販売拠点となるSekisui Plastics Korea設立
- 成形加工拠点の設置を検討中

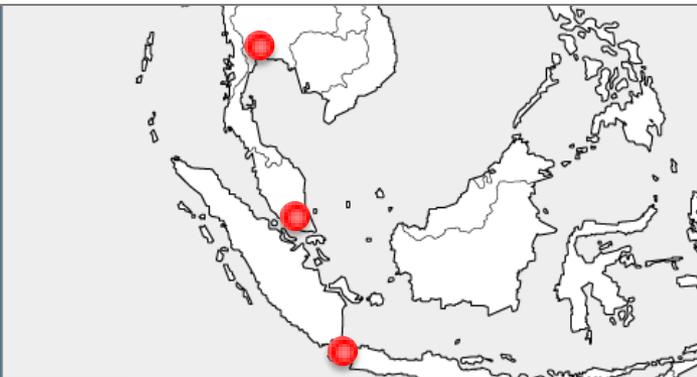
【既存ビジネスの拡大】

- ◆伸長する液晶パネル市場の更なるシェア拡大
- ◆自動車分野の拡販(部材の採用拡大)

【新規ビジネスの立上げ】

- ◆医療・健康分野の拡販
- ◆生活資材、農水産分野の拡大

南東
アジア



【タイ】

- ・2012年 販売拠点となるSekisui Plastics Thailandを設立
- ・2013年 バンコク北部に成形加工工場を設立
- ・2014年 工場設備能力増強
- ・タイ南部での第2拠点設置を検討中

【インドネシア】

- ・2012年 販売拠点となるSekisui Plastics Indonesiaを設立
- ・2015年 ジャカルタ東部に成形加工工場竣工

【既存ビジネスの拡大】

◆自動車分野の拡販

◆家電、IT分野の拡販

【新規ビジネスの立上げ】

◆産業資材分野の拡販

◆医療・健康分野の拡販

米州



【米州】

- ・2006年 販売拠点となるSekisui Plastics U.S.A.をテネシー州に設立
- ・2006年 同地にピオセラン発泡工場を設置
- ・2011年 同工場隣地に成形加工工場を設置
- ・2013年 ミシガン州に営業拠点を設置
- ・2014年 テネシー州の成形加工工場に倉庫増設
- ・2015年 オハイオ州に成形加工工場竣工
- ・2016年 メキシコで成形加工工場竣工

【既存ビジネスの拡大】

◆自動車分野の拡販

◆メキシコの自動車分野で確実な立ち上げ

【新規ビジネスの立上げ】

◆産業資材分野と生活分野の立上げ

欧州



【欧州】

- 2007年 販売拠点となるSekisui Plastics Europeをオランダに設立
- 2008年 同地にピオセラン発泡工場を設置
- 2016年 オランダにピオセラン生産設備増設
- 2016年 ドイツに営業・開発拠点設置
- ドイツ周辺で発泡および成形加工拠点を検討中

【既存ビジネスの拡大】

- ◆自動車分野、部材・部品物流の拡販
- ◆建材分野、医療・健康分野の拡販

【新規ビジネスの立上げ】

- ◆空調機器断熱材分野の拡販
- ◆産業機器分野への展開

(単位 億円)

	2016年度 実績	2017年度 計画	2018年度 計画
売上高	402	464	546
営業利益 (%)	26 6.5%	37 7.9%	52 9.6%
経常利益	20	31	45

- ◆ **グローバル拠点の拡充** (メキシコ、台湾、タイ、ドイツ)
- ◆ **新製品・新商品の積極的な投入**
(ST-LAYER(テクフォーマー)、エラスティル、テクヒーター)
- ◆ **既存製商品の水平展開とインスタシェアアップ**
(ピオセラン、テクポリマー、テクノゲル)

(単位 億円)

	2016年度 実績	2017年度 計画	2018年度 計画
売上高	622	656	694
営業利益 (%)	47 7.5%	46 7.0%	52 7.5%
経常利益	38	37	43

- ◆ 機能性開発品の投入
- ◆ 輸出入ビジネスへの取り組み
- ◆ 加工ビジネスの展開
- ◆ 生産性向上活動及び物流費削減活動によるコストダウン

ご静聴ありがとうございました

★内容に関するお問合せは…

CSR・広報部 (03)3347-9711 までお願いいたします。

★当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。